



石巻市教育委員会 生涯学習課

## 「ふるさと子どもカレッジ」だより



令和7年8月8日 第2号

### 第2回活動 大学ってどんなところ？～石巻専修大学で防災学習～

令和7年8月6日（水）8：30～12：30 石巻専修大学

## 活動内容

酷暑続きの毎日ですが、大学構内の快適な環境の中で活動をさせていただきました。講師の横江信一先生や職員の方々、6名の横江ゼミの学生の皆さんが温かく迎えてくださいました。学生の皆さんの笑顔あふれる自己紹介で第2回活動がスタートしました。今回は夏休み中ですが平日の開催で集合や解散について保護者の皆様にご協力をいただき、14名中12名の参加となりました。

横江先生はじめ職員の皆さん、学生の皆さんの万端たる事前の準備おかげでスムーズに活動が進んでいきました。横江先生がリードされたアイスブレイクで参加者は一気に盛り上がり、「KYT（危険予知トレーニング）」では掲示資料からどんな危険が考えられるかをみんなで考え、意見を出し合いました。学生さんが自ら考え制作した「石巻防災カルタ」は圧巻で、災害場面の場合に応じた色分けなどがなされ親しみやすいイラストで、参加者は夢中でゲームに興じていました。終了後は防災の意識が一気に高まったと感じているようでした。最後の「大学ウォークラリー」では、班ごとに学生の方々にリードしていただき、東日本大震災資料展示コーナーや大学図書館、海洋生物の水槽などを回り、スタンプを押してもらいました。学生の皆さんと楽しく学内を見学しました。

石巻地域の最高学府であり、東日本大震災の防災拠点であった石巻専修大学で今回ふるさと子どもカレッジの活動を体験できたことはとても意義深いものでした。

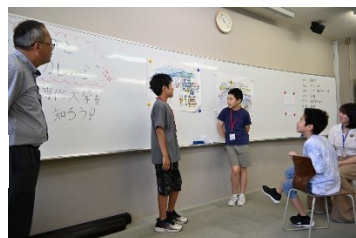
限られた時間の中で参加者に盛りだくさんの活動体験を与えていただいた講師の横江信一先生や学生の皆様、開催へ向けてご尽力いただいた職員の皆様に感謝いたします。

## 活動記録



←横江先生のアイスブレイク

KYT（危険予知トレーニング）→





石巻防災カルタ



カラフルなイラスト



防災についての解説



学生とのふれあい



震災伝承コーナー



大学図書館

## 参加者からの感想

- 図書館の本の数もすごかったし、いろんな場所などに行くことができていい経験になった。楽しかったです。
- クラスの数や学生の数、サークルの数が思ったよりも多くびっくりしました。大学にある食堂のラーメンは安いみたいです。図書館の本の数は19万冊だそうです。水槽があるところにはウニがいました。おいしそうでした。大学は面白く興味がわいてくる楽しいところでした。
- 楽しく災害のことが学べてよかったし、もし災害が起きたら、どんなことをするのが分かりました。
- 専修大学のことがよく分かったし、防災のこともよく分かったから、防災グッズも準備しようと思いました。
- 大学のことや防災のことを学べ、かるたや災害を予知するゲームが楽しかったです。
- 食堂に入りたかったです。かるたが楽しかった。KYTでどんなところがどのよう  
にきけんなのが分かりました。
- 災害のことをカルタで知ることができたと、大学のいろいろな場所も知ることが  
できました。
- ウォークラリーで水そうを見たり、カルタやアイスブレイクが楽しかったです。防  
災の勉強にとてになりました。
- 災害のときにどうすればいいのかや、そのときのためのそなえが分かりました。
- 大学で知ってないことを知ることができて楽しかった。
- サークルの数や学生の数、席の数を学びました。
- 大学の広さやあるもの、新しい遊び、そなえ方のしゅるいを学びました。

「ふるさと子どもカレッジ」とは…

ふるさと石巻市の自然・文化・歴史・産業を活かした体験活動を通して豊かな心を育み、ふるさとについて知り、ふるさとから学び、ふるさとを愛し、誇りに思う子どもの育成を目指します。